
One year Of life

夜河心太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

One year Of life

【Nコード】

N3299Z

【作者名】

夜河心太

【あらすじ】

極普通の日々を過ごしていた山田直樹。中学3年生の親友の島原光太。ある日事件が起こり、直樹が犯人扱いを受ける。だが、それを庇う光太が犯人だと嘘の証言。

その日から光太のいじめが始まり、光太は自殺。

光太が死んだのは自分のせいだと思いついてしまった直樹は、自殺を決意。だが、ラルナという少女に助けられる。

「死ぬよりは生きてるほうがいいに決まってるでしょ」
そうして直樹はある世界に飛ばされた。

そこには何もかも新しい世界が待っていた。

ある世界の、直樹の物語が始まる。

プロローグ1（前書き）

初めまして。

夜河心太です。初投稿となります。

というかこういうの事態初めてです。（汗）
がんばって書いていこうと思いますので、
見ていただけたら、うれしいです。

プロローグ1

いつもと変わらない日常。学校行って、友達としゃべって、帰る。

「勉強なんかしなくたって、生きていけるさ」

そんなこと考えてたらいつの間にか中3。

後悔はしてないけど、ちよっとした罪悪感がある。

いいんだよ。うん。きつと。

今が楽しけれや、きつと。

俺は山田直樹やまだなおき。とある学校の中学3年生。

「おい。帰ろうぜ」

話しかけてきたのは、島原光太しまはなみつた。

中3になってから急に仲良くなった。頭が悪い。

「んなこと言ってもな……。俺委員会の仕事あんだけど」

「お？そうか。なんなら手伝うぜ？」

「手伝うんだったらちよっとは勉強してくれよ」

「なんだと！？貴様親友の心使いを無視する気か!？」

「分かった分かった。じゃこれ運んでくれよ」

「……。これ全部？」

俺は勉強はあまりしないが、平均はいつもいっている。

とまあ、いつもこんな感じで過ごしている。

これが変わるはずはないと思ってた。

……この関係を、崩したくなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3299z/>

One year Of life

2011年12月11日13時49分発行